

1998  
3-4



切り絵：竹野 敏夫

# お西さん

## 声、明るく

西別院に初めて御縁を頂きましたが、まづ心うたれたのは、朝の勤行でした。

十名位のお寺さんが、声を揃えて朗々と勤行される姿、音声の美しさに感激しました。

声をだし、節をつけて、み仏さまのお徳や教えを讃えることを、梵唄とか声明とかもうします。

梵唄とは古代からの仏教音楽。声明とは五明（医方明とか因明）の一つですが、内容は勿論、言葉の響きもいいですネ。

この頃、世の中どうも暗いのは声（こゑ）が濁り、声（こゑ）それ自体（みづか）が衰えていくからではないでしょうか。

他処から帰った時「タダイマ」と明るく朗らかに言える人は、ほんとに幸せですよネ。

輪番 大江智朗

ふれあいの寺 本願寺函館別院  
函館市東川町12番12号 ☎(0138)23-0647

# 《出会い……そして、別れ》



うるわしき人生莊嚴

大江 智朗

この度、不思議なご縁を頂きまして、函館別院に着任いたしました。

函館も、別院輪番職も、私にとって初めてづくしで、戸惑うことばかりです。生まれつき愚鈍にして、もとより浅学菲才、何のとりえもない者ですが、優秀で、しかも親切な職員の方々に助けられ、また門信徒の皆様のおかげで、支援を仰ぎつつ、念仏弘通のため、微力をつくす所存です。西別院は、言うまでもなく京都の西本願寺の別院であり、ご住職さまは、ご門主さまであります。

「教書」等で、私たちの生きて行く道を、明らかに指示し下さっているご門主さまを、私たちのご住職さまとして仰げること、心からなる喜びと誇りとして、この人生をうるわしく莊嚴したいものです。

尚、小生「宗会」に身を置いていきますので、京都に上山することが多く、種々ご迷惑をかけますが、何卒よろしくお願いいたします。

合掌



かけがえのない  
いのちを大切に

佐々木 俊朗

この度、函館から堺へ転任することとなりました。約五年間、在任中はいろいろお世話になり厚くお礼申し上げます。函館別院に赴任した当初から、私は一つの願いを抱えていました。

明るく、親しみ易く、ホッとくつろげる、そんな雰囲気のお寺づくりをしたい、と。

まず職員の方々が、私の意図についてきてくれました。院内の行事や他の催しで、少しずつその思いが伝わり拡がっていったような気がします。しかし、ご門徒一人一人の隅々にまで行き届いたとは言えません。心残りはそれだけです。別院(お寺)は、開法の道場であります。

おみのり(法)に会い、ご先祖のいのちに触れ私どもにかけられた願いを聞く。

私を生かしめんとする如来さまのおこころに目覚めた時、いのちが輝きます。

どうか、かけがえのないいのちを大切に生き抜いて下さい。後生の一大事です。

# 春季彼岸会

日時

三月十八日(水)

～二十四日(火)

- 晨朝～朝七時より
- 逮夜～昼三時三十分より

福岡県清浄寺

講師

海野 俊雄 先生

(三月十八日～二十日)

虻田郡東林寺

山階 照雄 先生

(三月二十二日～二十四日)

※本院納骨堂及び台町墓地は、  
十八日(水)より二十四日(火)まで  
お勤めを致します。

※二十一日(土)はラムネとおだんごを  
ご用意致します。  
どうぞご利用下さい。

# 台町彼岸会



皆さんご存じですか?  
春・秋のお彼岸期間中、台町出張所でも  
彼岸法要が勤まっていますよ。  
墓参りに来られた誰もが、  
口をそろえて「キレイですねえ～」と  
おっしゃって下さるこの空間で、  
青く輝く海を見おろしながら、  
鳥のさえずる中、心静かに仏様の  
お話しを一緒に聴聞してみませんか!

3月20日(金) 午前11時30分より

## 中央仏教学院 特別講演会のご案内

日時

平成10年3月8日(日)  
午後1時より

会場

西別院文化会館

講師

中央仏教学院 講師  
普賢 保之 先生

会費無料

# ふれ愛 声 え



宮前町の井上さんも、必ず玄関から出て、私の車が見えなくなるまで見送って下さいませ。  
ご門徒の方々のやさしい目、やさしい言葉に励まされている自分に気付くのですが、「さて自分は」とふりかえると、なかなかそれができていないにも気付かされるのです。寒い土地ほど、人情深いといいますが、体が寒いからこそ、心をあたためあうやさしさ、思いやりの大切さに、あらためて気付かされる今日この頃です。  
(吉村)

■いっしょにおつとめしませんか  
桔梗町の木下さん宅へお参りに行かせて頂きますと、いつもご夫婦そろって一緒におつとめして下さいませ。  
浄土真宗における読経は祈りでもなければ、亡き人への廻向でもありません。お経をあげることも一番大切な意味は、「仏さまのお徳をたたえる」ということです。亡き人をしのびつつ、亡き人によって仏法にあわせていただき、アミダ様の呼び声を聞かせていただく有難いご縁であります。皆さまにもぜひおすすめ致したく思うことでもあります。  
(廣澤)

いました。「今でも体を動かしてないとダメなんですよ」とおっしゃる橋本さん。私も、最近出てきたお腹をながめながら、「見習わねば」と考えさせられた事でありました。  
PS.いつまでも、その若さでがんばって下さい。  
(小笠原)

## ■いっしょに

若松町の北橋弘吉さんのお宅へお伺いした時のことです。  
それまでは、北橋さんもお仕事で忙しかったせいか、余りゆっくりに話したことがありませんでしたが、その日は詩吟の会でした。その日は「如来様は男か女か」という事で議論になったとの事で質問を受けました。答えとしては「その人によって、如来は男でもあり女でもあり、男でも女でもない」という事ですが、その事を機会に毎月色々とお話しさせていたいくようにになりました。例えば、荘厳について、水について、三具足五具足について、御仏飯について、御香について等々。本当に色々な事をお話しさせていただき、そして私も勉強させていただきました。おかげで北橋さんのお宅の仏壇も、

今まで以上きちんと整頓され、更に新しく仏具を揃えるなど、「本当にいいご縁をいただいた」とおっしゃって下さいました。いえいえ、こちらこそ北橋さんにいいご縁をいただいたと嬉しく思った事でした。  
(高倉)

## ■あたたかい心

今年も雪も多く、しばれもきつい冬になりました。お参りの途中にも、たくさん交通事故を目撃しました。  
そんな寒い中、吉川町の船矢さんの奥様は、「危険ですから」といって、お参りのたびに寒い表に出て、私の車を誘導して下さいませ。そのお心遣いに、体は寒くても心は暖められるのです。

## ■おあさしのすず

杉並町の山田さんのお宅へお参りしたときに、ぜひ一度お寺のお農朝にお参りして下さいね、とお話しをしておりましたら、昨年暮れに親子揃って、足元の悪いなか、お寺にお参りに来て下さいました。  
お参りの終わった後、寺務所に戻ってきたら佐々木前輪番が、「あのお二人は？」とお話しになり、「親子で来ていただいたことはうれしいことだ」と喜んでいらっしゃいました。

季節がら寒い時期ですが、私たちもつらい日、眠い日はありますがそんな中での農朝、気持ちと身体がシャキッとして今日も一日が始まるぞという感じに成ります。皆様も一度お誘いあわせてお参りにお越し下さい。  
(神田)

## ■若いすずね

元町の橋本さんのお宅にお参りに伺いますと、ご主人はいつも薄着で、冬でも時にはシャツ一枚の事もあります。  
私が、「寒くないですか」とたずねますと、「いいえ、家の中は暖かいし、それに毎日トレーニングをして体を鍛えたりしているんで、全然寒くないんですよ」と教えて下さいました。

橋本さんは、永年消防のお仕事に携わっておられたそうで、火災現場での活動はもちろんです、本部で様々な救急指令を出されたり、後年には若手の育成にあたるなど、大変な活躍をされていた様子。私もお話を聞かせていただきながら、「スゴイですねえ」を連発して

## ■笑顔が一番

先日、美原四丁目の竹井笑美子さんのお宅にお伺いした時、ちょうど長野オリンピックのジャンプの中継をテレビでやっていました。お宅におじゃますると、竹井さんが「山岸さん、今ちょうどいいところ。一緒にテレビを見ましょう」とおっしゃいましたので、私も気になって見させていただきました。その日は、船木選手が金メダル、原田選手が銅メダルを取った日で、私は竹井さんのお宅でその瞬間を見ることができたのです。競技が終わった後のインタビューでの船木選手と原田選手的笑容を見て、竹井さんが「いい笑顔をしていますね。こっちゃんうれしくなりますね」とおっしゃいました。

ほんとうにその通りですね。すばらしい笑顔は、相手の人にもよるこびを与えるものです。人と接する時は気を付けたいものですね。  
(山岸)



# 北の国から'98

● 輪番旅日記 ●



第1回

## 坊守の笑顔につられ雪を掻く

(喜茂別町・竜溪寺)

11月16日、6時起床。

坊守さんが一人で

雪掻きしているのを見て20分ほど手伝う。

朝食をすませ、新聞を読んでいたら

急に息苦しくなり生汗が出て、死ぬかと思った。

トイレにかけ込み、布教を止めて九州に帰るべきか、

札幌か倶知安の病院に入院すべきか、

本気で迷っていたが、

タクシーが来る頃どうにか治る。

ホッとした顔で「ハイ、ポーズ」。

45分程、雪の中を走り、

倶知安駅へ向う。



(平成3年「布教日記」より)

## 乙女のつぶやき

〈事務員日記〉

別れと出逢いの季節だなあと思う今日この頃です。  
当別院も佐々木輪番が転任され、大江輪番が赴任されました。

佐々木輪番とは一時のお別れをしたわけですが、出逢えたご縁はとても有難く、そのお陰でたくさんのお話を教えられました。そして、この事は私の中に深く刻まれました。たとえ別れがあるにしても、出逢えたからこそ大切なものを頂き、そのことは変わらず私の中に残っていくのだなあと思います。今はただ、出逢えたことを喜んで、よかったなあ、嬉しいなあ……。 山崎

● 仲よく、手をつないで ●  
白崎さん、岩館さん、若松さんはそれぞれ湯川、西旭岡にお住まいされているのですが、毎月十一日から十六日までの常例布教には、湯川の電停に集合して一緒にお参りに来ていただいています。

駅を降りてお寺まで歩いて来られるそうなんですが、雪が降ると滑るので、その間は三人で転ばないように手をつながれているそうです。

私がお参りさせていただいている地域のの方は、遠くにお寺までのお参りが大変でしょうが、この三

人のように手を取りあい、仲良くしながらのお参りであれば、お寺までの道中も苦にならないと思います。これからも三人で元気に参りして下さいね！ (石黒)

● 僕のメロディ ●  
深堀町の藤岡さんは、可愛い息子さんを亡くされて、一年が過ぎ去りました。このたび、息子さんが生前愛用されていたピアノを近所の学校に寄贈されたのです。子どもさんの形見かけがえのないも

のを、手放されるときのご両親のお気持ち、どんなものだったでしょう。また、先生や生徒さんたちは、そのピアノをどんな気持ちで弾いていることでしょう。

お経には、阿彌陀如来のことを、「清浄業」ともいうと説かれています。お浄土からの澄みきった音声、時によっては私の救いとなることもあるでしょう。

教室のピアノも、今頃は、お浄土の清らかなメロディを奏でているのかも知れません。 (石丸)

● お浄土の出張所 ●  
大縄町にお住まいの大須田さん、永年お守りしてきた、お仏壇のご本尊の傷みが激しくこの度、本願寺より阿彌陀如来様、親鸞聖人様、蓮如上人様のお掛軸を新調なさり、ご安置させていただきました。折角の機縁だからと、仏具等も本堂のお飾りに少しでも近づけようとご努力の甲斐あって、立派なお飾りに仕上がりました。以前はロウソクを灯しても、ぼんやりとしかご本尊のお姿を見ることができなかったのですが、なれぬ手付きで奥様が、フロントウなされたのでし

よう、お仏壇のナナメ上に小さなスポットライトが取付けてありました。スイッチを入れ、読経を勤め終え、ふり返ると、奥様のお顔に笑顔があふれておりました。お家の中にお浄土の出張所がひかり輝いておりました。

お仏壇のお飾りのことをおすすめして良かったかと、私も心暖かく、家路に着いたことでした。 (黒田)

## ●婦人会●

婦人会といえばお寺の顔！ 婦人会が元気だと、そのお寺も元気になります。現在会員184名。毎月23日の例会では、みんなで仏様のお話を聞き、夏には日帰り温泉旅行で交流の輪を広げています。仏具もきれいにおみがきして、お寺はいつもピッカピカ。皆さんもお寺の“元気の素”になりませんか！一度遊びに来て下さい。お待ちしております。  
(小笠原・山岸)

## 来たれ！青年会

下は、17歳から上は40歳までの計15人の会員と2人の職員とのメンバーで構成している会です。毎月1回のまじめな集まりと、何かとゆらとすぐ飲み会とアソビの企画をひたすら実行に移す、結構イケてる会です。メンバー個々に独特の個性を持っている人がたくさん。刺激がほしい方は是非、一緒に遊びませんか？  
高倉・石黒(文は前田副会長♡)

## 覚信尼会(若妻会)

婦人会の中でも特に歳のお若い主婦が対象の会です。別院の行事への参加とともに、月に1度の例会(お勉強会)を開いております。その内容もバラエティー豊かで、郊外研修や市内散策、お料理教室や華道といったように盛り沢山です。みんな楽しくお寺に足をはこんでいます。  
(吉村)

## 壮年会

日頃、社会生活でご多忙な年齢層の方々が月1回、開法と奉仕活動を通じ仏法に親しみ、自分の心にゆとりを取り戻す、ふれあいのサークルです。お寺がグリーンと近くなりますよ!!  
(黒田・高倉)

# 会員募集

## 仏教に学ぶ会

毎月28日夜6時半から9時頃まで、あっという間の2時間半。現在、「お正信偈」をみんなで輪読中。まじめな勉強会には程遠い、不良老若男女の集団です。お経にふれることは、鏡で自分を見るようなものかなあ。自分の姿が気になったらいつでもどうぞ。悪人大歓迎!  
(石丸)

## 通信教育(おつとめ)

毎月8日のPM6:30より開かれており、中央仏教学院の通信教育生と、おつとめに感心のある方々(聴講生)が対象です。おつとめ(正信偈、御文章等々)のほかには、ご門徒のたしなみとして簡単な作法(お焼香の仕方等々)やお荘厳(おかざり)の仕方なども、1つ1つ勉強しています。  
(吉村)

## 十六日会

毎月16日12時半より、ご門徒の皆さんと手作りのお齋を頂き、おつとめ、ご法話を聴くのが16日会。毎月当番で、いろいろなメニューが出てくるのですがこのお齋が実においしく、とても楽しめてす。愛情のこめられた手作りのお齋はまさに“おふくろの味”。ご門徒の皆さんの会です。  
(石丸)

## ボーイスカウト

野外活動を通じ、感謝と奉仕の精神を養い、情操豊かな青少年の育成に若い指導者が心血を注いでいます。男・女不問。一度遊びにいらして下さい。お子さんの目の輝きが違ってきます!!  
対象年齢、小学1年生より～  
(黒田・山岸・石黒)



24時間お好きなときにいつでもどうぞ



- 3月 1日(日)～3月 7日(土)…輪 番
- 3月 8日(日)～3月14日(土)…高 倉
- 3月15日(日)～3月21日(土)…石 黒
- 3月22日(日)～3月28日(土)…輪 番
- 3月29日(日)～4月 4日(土)…廣 澤
- 4月 5日(日)～4月11日(土)…神 田
- 4月12日(日)～4月18日(土)…輪 番
- 4月19日(日)～4月25日(土)…石 丸
- 4月26日(日)～5月 2日(土)…小笠原

土曜の会へ行こう

- 三月 二十八日
- 四月 二十五日

会場 日吉町熊合宅にて

お問い合わせ ☎(0138)54-6859

浄書(写経)の会

- 三月 九日
- 四月 六日

※現在は「正信偈」の写経を行っています。初めての方もどんどんご参加下さい。

ようこそ常例布教へ

3月 岐阜教区 中川南組 善徳寺 武藤 幸久 先生

4月 北海道教区 上川北組 尊光寺 教重 文雄 先生

十一日 職員法話

十二日

布教使

十五日

十六日 輪番法話

(午後1時30分より)

※なお、毎月十六日は、十二時半より十六日会です。

永代経懇志  
ありがとうございました。

おくやみ申しあげます。

ミッキークラブ

お母さんがお仕事を持っておられる方、急に一日用事で出かける方、安心してお出かけ下さい。

ミッキークラブでおあずかりします。

対象

担当

龍谷幼稚園生 並びに 古澤 妙子先生  
2歳以上の弟妹 (元龍谷幼稚園主任)

お問い合わせは 龍谷幼稚園 ☎23-0274  
ミッキークラブ ☎27-4304

編集後記

▼またやってしまいました！カゼです。寝込む程ではないのですが、セキが止まらない、声が出ない。皆さんにご迷惑をおかけしながらお参りする毎日です。

「当たり前」に思っていた元氣な自分の姿が、そうではなかった事に気付かされます」と言いながら、フツと我に返る。「毎度同じ事を繰り返ししゃべっているのが、本当の自分の姿…?」 (小笠原)

▼「ピッカピッカの二年生」最近、テレビのコーナーでよくやっています。あの頃の私は一体、何処へ行ってしまったのでしょうか。緊張の連続、そして何もかもが新鮮で、いろんなことに感動していました。「初心忘るるべからず」。佐々木輪番のくちくせでした。四年七カ月、本当に有り難うございました。(石丸)





# 龍谷幼稚園 で〜す



## 『先生』一年生

加藤 佳代先生



月日が経つのは早いもので、四月に入園した子ども達が年長組になる時期がきました。入園当初はお母さんに連れられ、不安そうに登園した子、お友だちとうまくあそべずにいる子、幼稚園が楽しくて元気に登園してくる子と様々でした。しかし今では、集団生活に慣れ、お友だちと遊びを見つけ工夫して楽しんだり、遊びの中で相手への思いやりや優しさを身につけ、内面的も外見もお兄さん、お姉さんらしくなりました。このよう



な幼稚園生活で一日一日成長していく子ども達と共に、私も子ども達や先輩の先生方からたくさんのお話を学び、成長することができ、とても感謝しています。毎日が初めてのことばかりで、不安になったり、自信をなくすこともありましたが、元気な子ども達の笑顔に励まされ、この一年を過ごすことができました。今までの経験を生かし、四月から新たな気持ちで、子ども達と元気に楽しく過ごしていこうと思います。